



## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 白井 浩 (TEL) 03-3518-1111  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 2021年6月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	45,525	11.1	3,634	23.3	4,018	26.2	2,667	26.1
2020年9月期第2四半期	40,977	△5.4	2,947	△14.6	3,184	△12.2	2,114	△13.7

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 3,296百万円(92.2%) 2020年9月期第2四半期 1,715百万円(△19.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年9月期第2四半期	93.12		92.45	
2020年9月期第2四半期	73.87		73.36	

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しています。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年9月期第2四半期	51,117	33,708	65.1%
2020年9月期	47,230	31,038	64.9%

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 33,277百万円 2020年9月期 30,629百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年9月期	—	18.50	—	19.00	37.50
2021年9月期	—	19.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	88,000	15.7	6,000	25.2	6,300	19.5	4,200	39.4	146.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
 詳細につきましては、本日(2021年5月11日)公表いたしました「通期業績予想の修正及び剰余金の配当(中間配当・増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年9月期2Q	29,007,708株	2020年9月期	29,007,708株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年9月期2Q	351,920株	2020年9月期	366,320株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年9月期2Q	28,647,042株	2020年9月期2Q	28,631,918株
------------	-------------	------------	-------------

当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、および「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直しの動きがみられました。

しかし、4月に4都府県に対して3度目の緊急事態宣言が発出される等、感染症の更なる拡大・長期化も懸念され、先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、45,525百万円（前年同四半期比11.1%増）となり、営業利益は3,634百万円（前年同四半期比23.3%増）、経常利益は4,018百万円（前年同四半期比26.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,667百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より経営管理区分を変更したことに伴い、従来「化成品」セグメントに含まれていた㈱ワイピーテックを「機械資材」セグメントに変更しています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

#### ① 化成品

ゴム関連商品は、自動車に加えOA、医療、建機向けも需要が回復しました。新規商材として放熱用途の機能性ファイラーが電子機器向けに好調でした。化学品関連商品では、主力の重合開始剤等UVインキ原料が好調に推移し、また韓国向け電子材料の輸出や北米向けフィルムの輸出が回復しました。

この結果、売上高は15,353百万円（前年同四半期比0.5%増）、セグメント利益（営業利益）は922百万円（前年同四半期比26.4%増）となりました。

#### ② 機械資材

産業資材関連商品は、日系自動車メーカー各社の高水準生産が続き、主力であるシート周辺部材の需要が大幅に伸長しました。機械・環境関連商品は、主力の飼料用造粒機本体の納入が好調で、さらに消耗部品と保守サービスも高水準に推移しました。木質バイオマス関連事業は本体実現はありませんでしたが、消耗部品と保守サービスは順調でした。科学機器関連商品は、コロナ禍で遅れていた納品が実現し、またコロナ対策関連として吸入製剤評価装置の需要が活発でした。

この結果、売上高は17,569百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2,373百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

#### ③ 海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、高吸水性樹脂やゴム関連が好調に推移しましたが、中国製自動車部品の追加関税や販管費の増加により営業利益は微減となりました。三洋物産貿易（上海）有限公司は、自動車市場の急回復により自動車部品が大幅に伸長し、全体としては非常に好調でした。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は、ゴム関連を中心に化学品・自動車部品も堅調で増収増益となりました。Sanyo Trading (Viet Nam) Co., Ltd.は、塗料・インキ関連が好調でした。Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.は、自動車関連部品は好調も、中国からの海上輸送費高騰の影響を受け、増収・減益となりました。なお、当期よりPT. Sanyo Trading Indonesiaを連結の範囲に含めています。

この結果、売上高は12,549百万円（前年同四半期比45.6%増）、セグメント利益（営業利益）は714百万円（前年同四半期比39.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、現金及び預金が減少しましたが、売掛金・電子記録債権等の売上債権が大幅に増加したこと等から前連結会計年度末比3,331百万円増加し、42,823百万円となりました。

固定資産は、工場建設に伴う建設仮勘定の増加や株高による保有株式の評価増により前連結会計年度末比555百万円増加し、8,294百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は51,117百万円（前連結会計年度末比3,886百万円の増加）となりました。

### (負債)

流動負債は、銀行借入金の返済によって短期借入金が減少した一方で、仕入債務や前受金の増加によって前連結会計年度末比951百万円増加し、15,811百万円となりました。

固定負債は、主に投資有価証券の評価差額計上に伴う繰延税金負債の増加によって前連結会計年度末比264百万円増加し、1,597百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は17,408百万円（前連結会計年度末比1,216百万円の増加）となりました。

### (純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による株主資本の増加に加え、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加によってその他の包括利益累計額が増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における純資産は33,708百万円（前連結会計年度末比2,670百万円の増加）となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比769百万円減少し、9,648百万円となりました。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,565百万円の収入（前年同四半期比975百万円の減少）となりました。売上債権の増加や法人税等の支払いによる支出の一方、税金等調整前四半期純利益の計上や仕入債務の増加等によるものです。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、695百万円の支出（前年同四半期比1,077百万円の増加）となりました。工場建設費用の支払いや非連結子会社株式取得に係る支出によるものです。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,841百万円の支出（前年同四半期比1,875百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の返済や親会社による配当金支払いによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2020年11月6日付「2020年9月期決算短信」にて公表いたしました通期の業績予想の修正を行っています。詳細につきましては、本日（2021年5月11日）公表いたしました「通期業績予想の修正及び剰余金の配当(中間配当・増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,418,674	9,648,853
受取手形及び売掛金	14,157,872	17,725,584
電子記録債権	955,911	1,360,929
商品及び製品	12,275,711	12,519,019
仕掛品	6,421	758
原材料及び貯蔵品	3,071	3,792
その他	1,709,181	1,611,608
貸倒引当金	△35,069	△47,365
流動資産合計	39,491,774	42,823,181
固定資産		
有形固定資産	2,675,535	3,030,993
無形固定資産		
のれん	723,329	593,021
その他	484,268	409,381
無形固定資産合計	1,207,597	1,002,402
投資その他の資産		
投資有価証券	2,974,820	3,354,448
その他	883,982	909,389
貸倒引当金	△3,001	△3,142
投資その他の資産合計	3,855,800	4,260,695
固定資産合計	7,738,934	8,294,092
資産合計	47,230,708	51,117,273

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,098,568	9,530,877
短期借入金	4,369,188	2,086,651
1年内返済予定の長期借入金	—	10,020
未払法人税等	816,975	1,090,465
引当金	51,895	314,085
その他	2,523,123	2,779,274
流動負債合計	14,859,752	15,811,375
固定負債		
長期借入金	160,000	249,980
引当金	41,507	43,774
退職給付に係る負債	893,025	889,197
その他	237,944	414,343
固定負債合計	1,332,477	1,597,295
負債合計	16,192,230	17,408,670
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	404,235	403,427
利益剰余金	29,058,414	31,115,191
自己株式	△176,221	△169,294
株主資本合計	30,293,016	32,355,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533,735	835,249
為替換算調整勘定	△197,283	86,133
その他の包括利益累計額合計	336,451	921,382
新株予約権	107,701	124,472
非支配株主持分	301,309	306,834
純資産合計	31,038,478	33,708,602
負債純資産合計	47,230,708	51,117,273

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	40,977,325	45,525,943
売上原価	33,220,108	37,062,929
売上総利益	7,757,217	8,463,013
販売費及び一般管理費	4,809,482	4,828,215
営業利益	2,947,734	3,634,798
営業外収益		
受取利息	7,576	9,981
受取配当金	34,879	35,359
為替差益	182,535	335,809
その他	46,359	36,529
営業外収益合計	271,351	417,679
営業外費用		
支払利息	11,095	10,905
売上割引	4,637	4,610
投資有価証券評価損	—	9,889
その他	18,848	8,641
営業外費用合計	34,582	34,046
経常利益	3,184,503	4,018,431
特別利益		
投資有価証券売却益	—	15,514
特別利益合計	—	15,514
特別損失		
関係会社出資金売却損	—	164,982
特別損失合計	—	164,982
税金等調整前四半期純利益	3,184,503	3,868,963
法人税等	1,060,145	1,189,580
四半期純利益	2,124,358	2,679,382
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,368	11,730
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,114,990	2,667,652



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	2,124,358	2,679,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△338,320	301,608
為替換算調整勘定	△70,657	315,120
その他の包括利益合計	△408,977	616,729
四半期包括利益	1,715,380	3,296,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,707,346	3,284,283
非支配株主に係る四半期包括利益	8,034	11,828

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,184,503	3,868,963
減価償却費	189,242	173,493
のれん償却額	160,037	161,838
株式報酬費用	16,673	22,876
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,538	12,098
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25,157	△4,505
その他の引当金の増減額(△は減少)	254,193	261,773
受取利息及び受取配当金	△42,455	△45,340
支払利息	11,095	10,905
為替差損益(△は益)	33,843	△41,297
関係会社出資金売却損	—	164,982
売上債権の増減額(△は増加)	189,375	△3,619,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,371,313	147,948
仕入債務の増減額(△は減少)	△362,856	2,225,141
前受金の増減額(△は減少)	△362,601	485,519
前渡金の増減額(△は増加)	164,121	259,135
その他	△99,148	△645,913
小計	4,676,642	3,438,352
利息及び配当金の受取額	42,162	45,331
利息の支払額	△11,254	△16,242
法人税等の支払額	△1,166,740	△901,897
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,540,810	2,565,545
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△390,409	△444,859
無形固定資産の取得による支出	△2,367	△4,554
投資有価証券の取得による支出	△10,500	△6,955
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,044,681	—
関係会社株式の取得による支出	△68,457	△180,485
関係会社出資金の売却による支出	—	△17,851
貸付けによる支出	△233,960	△180,000
貸付金の回収による収入	14,502	110,369
その他	△37,308	29,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,773,182	△695,241

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△103,487	△2,388,029
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△246,241	—
配当金の支払額	△529,674	△544,186
非支配株主への配当金の支払額	△12,093	△6,302
その他	△73,692	△2,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△965,189	△2,841,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,562	104,258
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	794,876	△866,480
現金及び現金同等物の期首残高	4,548,545	10,418,674
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	51,716	16,878
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	79,780
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,395,137	9,648,853

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響について)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,274,036	16,999,331	8,618,946	40,892,314	56,658	40,948,972	28,352	40,977,325
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,253,449	163,665	945,082	2,362,197	18,355	2,380,553	△2,380,553	—
計	16,527,485	17,162,996	9,564,029	43,254,511	75,013	43,329,525	△2,352,200	40,977,325
セグメント利益	729,373	2,054,586	511,696	3,295,655	39,502	3,335,158	△387,424	2,947,734

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額28,352千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益の調整額△387,424千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△415,773千円、管理会計との為替調整額3,027千円が含まれています。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、(株)ワイピーテックの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「機械資材」セグメントにおいて、のれん757,004千円を計上しています。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,353,645	17,569,898	12,549,991	45,473,535	57,354	45,530,890	△4,946	45,525,943
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,765,499	327,044	777,586	2,870,131	16,484	2,886,615	△2,886,615	—
計	17,119,145	17,896,943	13,327,577	48,343,667	73,838	48,417,505	△2,891,562	45,525,943
セグメント利益 又は損失(△)	922,203	2,373,777	714,336	4,010,316	△32,278	3,978,038	△343,239	3,634,798

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額△4,946千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△343,239千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△415,724千円、管理会計との為替調整額△50,610千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(株)ワイピーテックに関連する事業を「化成品」セグメントとして区分してきましたが、経営管理区分を変更したことを踏まえ、第1四半期連結会計期間より、「機械資材」セグメントへと区分する方法に変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社である三洋ライフマテリアル㈱が非連結子会社であった㈱NKSコーポレーションを吸収合併しています。当該事象により、「化成品」セグメントにおいて、のれんが27,736千円増加しています。